

令和7年度 第78優良公民館表彰 表彰館一覧

最優秀館（1館）			
東京都	国立市公民館	…	33

「第78回優良公民館表彰 令和7年度表彰館事例集」

（文部科学省総合教育政策局地域学習推進課）より抜粋

優秀館（5館）			
宮城県	登米市登米公民館	…	13
長野県	塩尻市中央公民館	…	57
島根県	益田市安田公民館	…	75
岡山県	西粟倉村あわくら会館※	…	81
鹿児島県	鹿児島市松元公民館	…	111

表彰館一覧（上記6館含む）			
1 北海道	今金町民センター※	…	1
2 北海道	奈井江町公民館	…	3
3 青森県	八戸市立江陽公民館	…	5
4 青森県	弘前市立中央公民館	…	7
5 岩手県	一関市室根市民センター※	…	9
6 岩手県	野田村総合センター※	…	11
7 宮城県	登米市登米公民館	…	13
8 秋田県	横手市朝倉地区交流センター あさくら館※	…	15
9 福島県	川俣町中央公民館	…	17
10 茨城県	養蚕コミュニティセンター※	…	19
11 茨城県	古河市中央公民館	…	21
12 群馬県	高崎市寺尾公民館	…	23
13 群馬県	前橋市上川淵公民館	…	25
14 埼玉県	戸田市立新嘗公民館	…	27
15 埼玉県	深谷市岡部公民館	…	29
16 埼玉県	所沢市富岡まちづくりセンター	…	31
17 東京都	国立市公民館	…	33
18 神奈川県	平塚市立大野公民館	…	35
19 神奈川県	伊勢原市立中央公民館	…	37
20 新潟県	三条市大島公民館	…	39
21 富山県	黒部市立浦山公民館	…	41
22 富山県	高岡市福田地域交流センター※	…	43
23 石川県	加賀市立橋立公民館	…	45
24 石川県	穴水町立穴水公民館	…	47
25 石川県	白山市立蝶屋コミュニティセンター※	…	49
26 石川県	金沢市富樫公民館	…	51
27 福井県	福井市清水東公民館	…	53
28 山梨県	上野原市大目公民館	…	55
29 長野県	塩尻市中央公民館	…	57
30 長野県	豊丘村公民館	…	59
31 岐阜県	土岐市立肥田公民館	…	61
32 静岡県	静岡市興津生涯学習交流館※	…	63
33 静岡県	静岡市南部生涯学習センター※	…	65
34 愛知県	蒲郡市府相公民館	…	67
35 愛知県	瀬戸市水南公民館	…	69
36 京都府	吉津地区公民館	…	71
37 鳥取県	鳥取市立小鷲河地区公民館※	…	73
38 島根県	益田市安田公民館	…	75
39 岡山県	津山市広野公民館	…	77
40 岡山県	里庄町中央公民館	…	79
41 岡山県	西粟倉村あわくら会館※	…	81
42 広島県	広島市早稲田公民館	…	83
43 広島県	広島市己斐上公民館	…	85
44 広島県	福山市常金丸交流館※	…	87
45 山口県	周防大島町大島公民館	…	89
46 山口県	美祢市嘉万公民館	…	91
47 山口県	山陽小野田市須恵地域交流センター※	…	93
48 徳島県	鳴門市瀬戸公民館	…	95
49 徳島県	徳島市住吉・城東公民館	…	97
50 愛媛県	西条市大保木公民館	…	99
51 愛媛県	四国中央市関川公民館	…	101
52 愛媛県	八幡浜市立神山地区公民館	…	103
53 愛媛県	松山市久枝公民館	…	105
54 長崎県	長崎市海外公民館	…	107
55 大分県	中津市三光コミュニティーセンター	…	109
56 鹿児島県	鹿児島市松元公民館	…	111
57 鹿児島県	指宿市立開聞校区公民館	…	113
58 鹿児島県	天城町防災センター（生涯学習推進室）※	…	115
59 鹿児島県	鹿屋市高隈地区交流促進センター※	…	117
60 沖縄県	那覇市石嶺公民館	…	119

※…公民館と同等の施設

One for all All for one

登米市登米公民館(宮城県)



地域を盛り上げる青年団活動



ダンスを通じた共生事業

公民館の沿革・年表

- ・昭和22年 登米公民館開設
- ・昭和48年 現在地に登米公民館竣工
- ・昭和60年 宮城県教育功績者表彰受賞
- ・昭和61年 第39回優良公民館表彰受賞
- ・平成25年 とよまコミュニティ運営協議会が指定管理受託
- ・平成26年 第1次とよま地域づくり計画策定
- ・令和5年 宮城県より受託し「共生事業」スタート
- ・令和6年 38の町内会が一本化し組織再編スタート
- ・令和6年 青年団羽波芭酒場結成活動開始
- ・令和6年 第3次とよま地域づくり計画策定

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- とよま応援サポーター青年団の例会で小学生から70代までの多様な世代が参加し、竹灯りづくりのワークショップを開催。町の新たな風物詩創出を目指している。
- 共生事業 GUIDANCE STUDIOのダンス講師KICK-IT氏による奏海の杜の子どもたちとのダンス教室開催。障害のある子でも踊れるダンスを学び、盆おどり大会で披露。取組みが県主催の「共に学び、生きる共生社会コンファレンス in みやぎ」で発表された。

公民館情報	1. 公民館対象人口	4212人	4. 利用可能時間	8:30~22:00
	2. 建物設置年月日	昭和48年9月30日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	3. 開館日数	359日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	2台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (とよまコミュニティ運営協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()			
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 730人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 11,970人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,110人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1,500人 (クーリングシェルター・居場所としての来館等)	合計		15,310人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 人 (職員のうち社会教育士の数 1人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 人) 合計 4人			
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (コミュニティビジネス他収入)			
11. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 (住民アンケート実施、理事会、コミュニティ部会、町内会振興協議会等)			
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 地域防災・減災 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> 日本語教育の推進 <input type="checkbox"/> 義務教育未修了者への支援 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化継承活動 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> こども・若者の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> 社会人の学び直し <input checked="" type="checkbox"/> その他 (秋まつりやカッパハーフマラソン大会など町の伝統行事への協力・支援)			
13. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (老朽化しているが、図書館と軽運動もできる大集会室を併設し、社会教育・社会体育の拠点となっている)			
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (NPO法人奏海の杜、登米町婦人会、登米文化協会、みやぎ北上商工会、NPO法人とよまスポーツクラブ蔵っこ、登米地区体育協会、登米町環境美化奉仕団、スポーツ少年団、他各種団体を協力団体として連携・協働している。)			

登米市登米公民館

OPEN 9:00~22:00(8:30~17:15) H P

<https://miyagi-toyoma.jp/>

TEL 0220-52-2316 SNS

Facebook, Instagram



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

公民館が公設公営から「公設民営」の指定管理制度となって10年。古い街並みと歴史、文化はあるが若者・担い手がいなしと言われ続けた少子高齢化の町の活性化を目指し、地域の住民主導によるまちづくりがスタートした。これまであった38の行政区、3つのコミュニティを一つにまとめ、シンプル・スリムな組織を目指し、住民の声やニーズを集めて第3次となる地域づくり計画を策定した。地域にある教育機関やコミュニティスクール、福祉団体とも連携・協働を進めることで、公民館が社会教育・貸館業務にとどまらず、多様な世代が集い交流できる場となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

【とよま応援サポーター青年団羽波芭酒場/ばばばバー】(こども・若者の居場所づくり)

既存の伝統事業に加え時代のニーズをとらえた新規事業を開始し、多様な若い世代が集結。「自称」青年たちが「とよま愛」を熱く語り合い、参加者発案の竹あかりづくりワークショップを開催した。今後、竹の灯りが町の新たな風物詩として広まることが期待されている。

【共に学び、生きる共生社会実現の共生事業】(障害者の学び支援)

県の指定事業を受託した共生事業では「共に学び、生きる共生社会」実現のために「障害があってもなくても、誰もが参加できるダンス教室」を開催した。地域の特定非営利活動法人・奏海の杜と地域に根ざして活動しているダンス教室GUIDANCE STUDIOを公民館がマッチングし、盆踊り会場で障害を持つ子どもがダンスを披露した。県主催の共生社会コンファレンスで発表し、参加者から注目を集めた。

【地域の学校・コミュニティスクールとの協働・連携】(地域学校協働活動)

小学6年生が対象の「凧づくり交流」では、地域の方を講師に招き、凧紙と竹ひごを使い世界に一つだけの菱凧を作ったり、60年続く伝統の凧あげ大会に参加した。また、ジュニア・リーダーが大会の運営に参加した。

「北上川学習」では、地域団体「かつぱの会」の協力を受け、小学4年生が川下り体験をした。この他にも盆踊り大会で中高生のボランティアが、縁日コーナーを自主運営したり、高校生インターンシップ職場体験では、高校生が料理教室の運営に参加するなど学校や地域の団体との連携・協働を進めている。盆踊り大会に参加した中高生ボランティアから「やりがいがあり楽しかった」の声があがるなど参加した方々からも好評を得ている。



羽波芭酒場（竹あかり作り）



ダンスを通じた共生事業

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

●青年団は毎月一回、交流会を開催し、特にテーマを決めず、参加者が自由に語り合える場を絶やさないように継続した。何も発言しなくても、仲間とそこにいることが楽しく、自然体で過ごせる居場所となるような空気感を大切にしている。

●障害があってもなくても、それぞれのペースに合わせて参加できるよう、講師や施設職員と密に連絡を取り、開催日時や内容など参加者の様子を見ながら臨機応変に対応した。

●高齢化と担い手不足が深刻な町で、小中高校生が体育大会、文化祭などに参加・参画し、秋まつりや神楽、お囃子などの伝統文化行事にも関わり、運営ボランティアとして活躍している。公民館とコミュニティスクールとの協働、学校運営協議会との連携が地域の活性化に良い影響を与えている。



盆踊り大会中高生ボランティア

4. 取組による成果や効果

●青年団に毎回多くの若い世代が集まり、活発に交流していることに、地域の注目と期待が高まっている。

●参加者のニーズに合わせて事業展開しており、ダンスが大好きになった子供たちは、表現したい気持ちが大きく成長した。就労支援事業所の利用者も公民館の講座に参加し、地域の方とのふれあいを楽しんだ。

●多様な若者の参加により、世代を超えたつながりが生まれ、町のにぎわいや活性化が図られた。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

昨年度より38の町内会の代表が構成員となったことにより、コミュニティの各部会が活発となり、役員、理事の意識も変わってきた。毎月開催している事務局会議で事業計画、報告を行い、青年団や地域住民の意見を共有し、事業の検証・改善を行っている。理事会や総会でも前向きな意見が出るようになり、現状や課題、振り返り、改善点等について議論している。事業毎の実行委員会、反省会への参加者も増加している。



地域づくり計画打合せ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

①住民参加型の互助的な高齢者生活支援事業 ②子どもの居場所・遊び場創出事業 ③気仙沼市の公民館との市域を越えた交流事業の3つを今年度より始めると共に、コミュニティのスローガン「One for all All for one」のもと、町の核となる公民館から、地域づくりの小さな一歩をスタートさせたい。



とよま地区市民体育大会

誰もが「ともに学びあう」共生の地域を創る

国立市公民館(東京都)



しょうがいのある人・ない人がともに運営する「喫茶わいがや」



ボランティアと連携して行っている「生活のための日本語講座」

公民館の沿革・年表

- 昭和30年11月 国立町公民館開館(昭和42年 市制施行)
- 昭和50年 1月 若者たちのたまり場「コーヒーハウス」が始まる
- 昭和54年 4月 公民館改築
- 昭和55年 5月 障害者青年学級が始まる
(現在の「しょうがいしゃ青年教室」)
- 昭和56年12月 喫茶「わいがや」オープン
- 平成元年 5月 外国人のための日本語講座が始まる
(現在の「生活のための日本語講座」)
- 平成25年 4月 中高生のための学習支援「LABO☆くにスタ」開始
- 令和 6年 6月 公民館ホームページリニューアル
- 令和 7年11月 公民館開館70周年

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

【喫茶わいがや】

公民館の1階ロビーにある喫茶スペース。公民館に集う若者の活動「コーヒーハウス」のスタッフや「しょうがいしゃ青年教室」に通うメンバーが、しょうがいの有無に関わらずともに運営している。居心地の良い店内や丁寧にハンドドリップしたコーヒーは、多くの市民から愛されている。

【生活のための日本語講座】

日本語を母語としない人を対象に、火・水・木曜の週3日、生活で必要となる基礎的な日本語を学ぶ講座を開催。レベルに合わせた5つのクラスがあり、昨年は128名が参加。市民のボランティアグループと連携して実施しており、ボランティアを養成する講座も毎年行っている。

公民館情報

1. 公民館対象人口	76,382人	4. 利用可能時間	9:00~22:00
2. 建物設置年月日	昭和30年11月3日	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
3. 開館日数	307日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	256台
7. 運営主体	市町村教育委員会	指定管理者 ()	その他 ()
8. 来館者数	学級・講座 10,988人 その他 人 ()	貸館、サークル活動 39,975人	講演会、展示会等 人 合計 50,963人
9. 職員数	専任 6人 (職員のうち社会教育士の数 1人)	兼任 1人 職員のうち社会教育主事有資格者の数 5人	非常勤 3人 合計 10人 ボランティア協力者 人
10. 予算	市区町村予算 委託金	自治組織等予算	寄附等 その他 ()
11. 公民館運営審議会	あり なし	その他 ()	
12. 公民館が実施している、若しくは、関わっている取組・事業の分類	地域防災・減災 地域学校協働活動 伝統文化継承活動 ボランティア養成 その他 (憲法・人権・平和・哲学・ジェンダー・表現創作・多文化共生・健康・社会教育学習会)	デジタル・デバイドの解消 障害者の学び支援 世代間交流活動 地域資源を活用したまちづくり	家庭教育支援 日本語教育の推進 こども・若者の居場所づくり コミュニティ・スクール 体験活動 義務教育未修了者への支援 子育て支援 社会人の学び直し
13. 施設の特徴、魅力	複合施設 自由記述 (主催講座に力を入れており、年間50種類以上の様々なテーマの講座を実施している。)	図書館 その他 ()	学校 生涯学習センター
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	幼稚園・保育所 企業 図書館	小中学校 NPO 博物館	高校 各種団体 青少年教育施設 大学 行政機関 その他
(桐朋中学校・高等学校、都立第五商業高校、NHK学園高等学校、一橋大学、NPO法人東京学芸大こども未来研究所、一般社団法人真山舎、くにたち男女平等参画ステーション、くにたち中央図書館、くにたち郷土文化館、NPO法人フードバンクくにたち、国立市社会福祉協議会、国立市消防団女性団、国立市ボランティアセンター、国立市赤十字奉仕団 など)			

国立市公民館

OPEN 9:00~22:00 H P <https://www.city.kunitachi.tokyo.jp/kurashi/shisetsu/3/11114.html>
TEL 042-572-5141 SNS Instagram@coffeehouse_kunitachi



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

・国立市は「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」を市政運営の理念に掲げており、すべての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み支え合うことを基本としたまちづくりを推進している。市における唯一の公民館である国立市公民館も同様に、ユネスコの「学習権宣言」等を踏まえ、社会参加に制約を受けている市民を含め、すべての人の学習権の保障を目指し、長い歴史の歩みのなかで現在の公民館の事業体系を構築してきた。

・国立市公民館には、公民館運営審議会などをはじめ、市民参加の多様な仕組みのもと、市民・職員協働の公民館運営が風土として根付いている。講座等の運営においても市民の主体的な参加を促進し、また多様な市民が学びあうことを公民館事業全体の共通テーマとしている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動など）

以下、誰もが「ともに学びあう」共生の地域を創るというテーマに関係する事業を抜粋して紹介。

【しょうがいしゃ青年教室】

しょうがいのある若者となない若者がともに活動して、お互いに学びあう場を作ることを目的とした青年教育事業。スポーツ・クラフト・料理・リトミック・喫茶実習（喫茶わいがやとの連携）・YYW（みんなでやりたいことを自由に企画する）の6種類のコース別講座を毎月開催している。企画は毎回、みんなで話し合いながら決めていく。そのほか年に数回クリスマス会や合宿など、共通イベントも開催。現在61名のしょうがいしゃメンバー、71名の若者スタッフが参加している。

【にほんごサロン】

「生活のための日本語講座」の参加者等を対象に、月1回程度、会話を楽しみながら交流する様々なプログラムを開催。日本文化やお子さんが通う日本の学校のことを知る機会となったり、外国人に料理を教えてもらったり、学んだ日本語で楽しく会話をしながら地域の方々と交流の機会となっている。また、外国人のための防災団体と連携し、街歩きをしながら避難所を巡るなどして、日本の災害や防災になじみのない外国人が手に入れにくい情報を共有している。

【中高生のための学習支援「LABO☆くにスタ」】

市内の中高生を対象に大学生のスタッフによる学習支援を月3回開催。文部科学省・東京都「地域未来塾」補助事業として実施。各回の参加者は中高生約20名、大学生約20名。市民や社会福祉法人から提供いただくお菓子やお弁当を食べながら交流する時間も設けており、学習支援だけでなく、安心して過ごせる「居場所」としても機能。

【地域防災講座「公民館de防災」】

公民館全室を使用して実施した令和6年度は、消防団や子ども食堂、ボランティアセンターなど計16団体の協力のもと、防災備蓄の配布や地震波実験、災害時のポリ袋調理体験など11種類のブースを展開した。老若男女問わず192名が参加、市民が防災を学び、日頃の備えについて考える機会となった。



しょうがいしゃ青年教室のスポーツチャンバラ大会。自然した真剣勝負



にほんごサロン
消しゴムハンコづくり

3. 取組において公民館が果たした役割、運営の工夫など

・これらの事業の発信力向上のため、毎月発行する「くにたち公民館だより」の紙面充実と併せて、近年は公民館ホームページをリニューアルし、市民運営のSNSと連動させ、特に若年層への遡及を強化してきた。

・どの講座でも、実施後にともに事業を運営する関係者やボランティア、職員で「ふり返り」を必ず行うようにしている。「ふり返り」では活動を見つめ直し、新たな気づきや発見、課題を出し合い、次回以降に向けた運営の工夫等を検討する。このサイクルを繰り返すことで、講座の質が高まるだけでなく、関係者・ボランティア自身の学びや成長にもつなげている。

・「LABO☆くにスタ」においては、スクールソーシャルワーカーと連携した情報発信を行い、学校や家庭での悩みを抱える子どもたちの参加につなげている。また、市内で活動する社会福祉士をアドバイザーに位置付け、子どもたちの福祉的な課題に対応する連携体制を構築している。



公民館de防災 スタンプラリー形式で館内を巡りながら、防災について学

4. 取組による成果や効果

・「しょうがいしゃ青年教室」料理講座に参加した大学生が、「私より断然料理が上手で、むしろ教わってしまった」と感想を述べたように、教える／教わるという関係が時に反転しながら、「ともに学びあう」という関係性が生まれている。また、これらの講座に参加する若者が高校生やしょうがいしゃも巻き込んで自主サークル「ラーメン部」を立ち上げるなど、高校生が大学生になって活動に戻り、講座の枠を超えて人をつなぐ持続的な世代の循環が広がってきている。

・地域防災講座では別々に活動している団体が一堂に会し、各団体の交流や情報交換が生まれ、市民同士がつながる場になっている。

5. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

・学校教育・社会教育・家庭教育の関係者と学識経験者の計15名からなる公民館運営審議会では、毎月定例会を開催し、各種事業等について調査・審議を行っている。

・事業運営に携わる職員10名は、2週間に1回会議を実施し、講座のふり返りや企画に対する意見交換を行っている。また、年に数回、職員研修を企画、事例研究や関連部署等との情報交換を行っている。



若者たちの自主的なサークル「ラーメン部」
公民館の実習室でスープから作る

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

・国立市公民館は令和5年7月に「国立市公民館の職員に求められる専門性や基本的姿勢について」という指針を作成・公表した。引き続き、職員も市民と学びあいながら専門性を高める取組を推進する。

・今年度迎える70周年を機に、次世代の公民館活動の担い手育成に向けて、若者自身が多様な人たちと「ともに学びあう」場をつくっていく、「ユースワーク」の取組を推進したい。



LABO☆くにスタの様子。公民館で一番大きいホールが満杯になるほどにぎわっている。